

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月28日

事業所名 じぶんみらいココイロ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		必要な場合は、活動室以外にも園庭や会議室などを活用しています。	身体を動かすゲームや運動などを取り入れる活動内容によっては活動室のスペースが狭く感じるかもしれませんが、園庭や糸満市のグラウンドなども上手く使って活動を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	2	4		・児童の特性に合わせてプログラム等を調整しています。 ・職員の欠員があった場合は、プログラム内容を適切に無理のない内容にしています。	法令基準を上回る職員の配置であります。利用児童の特性や個別活動の支援内容によっては、余裕がない場合もあります。そのため、左記のような調整を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		ミーティング等で予定と振り返りを行っています。	業務改善に関する会議は未だ少ないように感じます。PDCAサイクルを行い、更に業務改善を行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	1		評価表以外にも保護者から支援等の意向がある場合は職員間で把握し改善を行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	1	評価表は昨年よりホームページなどで公表しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	1	第三者委員会から、助言をいただき業務改善につなげています。	第三者評価制度は利用していませんが、第三者委員会や隣接することも発達支援センターココイロ、就労支援センターたまん職員からの助言があり、職員間で周知し支援や業務改善につなげていきます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			外部研修にも参加しています。		
適切な	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			集団で行うプログラム以外にも、必要な場合は個別支援等で取り入れ、児童の支援にあっております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3			生活面や学習面のチェックリストを作成しました。うまく活用できていないのが現状です。アセスメントツールの内容や使用目的などを見直し、個別支援の向上を図る必要があります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		基本案を作成し、それを職員間で確認、調整しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			・団体活動と個別学習を分けて支援しています。 ・就労実習や企業見学等は長期休暇期間に取り入れ、充実した活動ができるようにしております。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3	緊急性の伴うものは、必ず職員間で情報共有しています。	・平日はできていますが、学校の長期休暇や職員間のシフトの関係もあり、できない時もあります。 ・時間がある時は、必ず職員間で密に連携していますが、生徒の受入れ時間が早い期間は取れていない現状があります。今後は工夫する必要があります。 ・申し送りフォーム等を上手く活用し、支援の内容や役割分担などを確認していけるように取り組みます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	緊急性の伴うものは、当日で話し合うようにしていますが、難しい場合は翌日以降に必ず振り返りを行っています。	・送迎時間やシフト勤務の関係から全員参加は難しいです。 ・時間がある時は、必ず職員間で密に連携していますが、生徒の受入れ時間が早い期間は取れていない現状があります。今後は工夫する必要があります。 ・当日難しい場合は、翌日以降に振り返りを行い、職員間で統一した支援ができるようにしていきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1		ガイドラインを基に支援を行っておりますが、職員間の周知不足や認識の異なる場合があります。更に把握し、統一した支援ができるよう取り組んでいきます。	
関係機関や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			下校時間の間違い等トラブルが生じないよう心がけておりますが、情報共有不足の場面もありました。積極的に学校との連絡調整を行い、児童が安心して活動に参加できるよう取り組んでいきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				対象児童がいませんでした。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				主に中学生～高校生を対象とした事業所であるため、保育所や児童発達支援事業所との情報共有はありませんでした。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			退所後も必要な場合は保護者や移行した事業所等へ助言なども行っております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		3	前年度はOkinawaミニバレーボールフェスティバルに参加し、障害児部門ではありましたが、一般の方も交えゲームを行うことができました。	児童クラブや児童館の同世代の児童との交流に関しては、個人情報や保護者の意向も踏まえ、検討する必要があると考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	1		地域自立支援協議会へは積極的に参加しておりますが、職員への周知が不足しております。知りえた情報は職員間で情報共有していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		・保護者のから相談に対応しています。 ・前年度は、就労についての講話を行いました。今年度も保護者様の支援向上のためになる内容を検討し、開催していきたいと考えております。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		前年度は、保護者様への講話を含め親子会(親子バーベキュー)を開催し保護者同士の交流が持てる場を設けました。今年度も、保護者同士や職員との交流が持てるよう計画しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	35	個人情報に十分注意している	6				
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			発語等に課題がある児童に対しては、イラストや五十音表等を利用し意思疎通を行い、説明を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3		前年度も、新型コロナウイルス感染予防の影響があり地域との交流を持つことが難しかったです。今後は、法人全体での祭り等があれば積極的に参加していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			各種マニュアルは作成し、通路などに掲示しておりますが、内容改善や職員間での認識の統一などが不足しております。改善後のマニュアルを早急に掲示していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				令和6年4月3日の津波警報を受け避難した時の課題等を検討し、災害発生時に備え、更に訓練等を強化していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				必要だと思われる児童がいた場合は、保護者に説明し、連携して対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている					対応児童がいませんでした。今後は必要がある場合は保護者と連携して対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				